

第3章 環境影響要因及び環境要素の抽出

3.1 環境影響要因の抽出

対象事業の実施に伴う環境影響要因を表3.1-1に示す。

表3.1-1 環境影響要因

区分	環境影響要因
工事による影響	<ul style="list-style-type: none">・建設機械の稼働及び工事用車両の走行により、大気汚染物質が発生する。・建設機械の稼働及び工事用車両の走行により、騒音、低周波音、振動が発生する。・工事敷地から周辺河川への雨水の流入により、水質汚濁が発生する。・樹木の伐採、土地の改変により、陸上植物へ影響を与えるおそれがある。・樹木の伐採、土地の改変、建設機械の稼働及び工事用車両の走行により、陸上動物、生態系へ影響を与えるおそれがある。・工事敷地から周辺河川への雨水の流入により、水質汚濁が発生し、水生生物の生息環境へ影響を与えるおそれがある。・基礎の掘削により、残土が発生する。
存在・供用による影響	<ul style="list-style-type: none">・送電線路の存在により、景観・風景が変化する。

3.2 環境要素の抽出

前章で抽出した環境影響要因と環境要素との関係を表 3.2-1 に示す。

表 3.2-1 環境影響要因と環境要素との関連

環境要素の区分	環境影響要因の区分	工事による影響	存在・供用による影響
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気汚染	○	
	悪臭		
	騒音	○	
	低周波音	○	
	振動	○	
	水質汚濁	○	
	水象		
	地盤沈下		
	土壌汚染		
	地形・地質		
	日照阻害		
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	陸上植物	○	
	陸上動物	○	
	水生生物	○	
	生態系	○	
人と自然との豊かな触れ合いの確保	景観・風景		○
	人と自然との触れ合いの活動の場		
環境への負荷の量の低減	廃棄物・発生土	○	
	大気汚染物質・水質汚濁物質		
	温室効果ガス等		
一般環境中の放射性物質	放射線の量		